

令和 6 年 度

事業報告書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団

令和6年度事業報告書

【 概 要 】

令和6年度事業の実施に当たっては、健(検)診事業を始め、がんやその他の生活習慣病の予防・早期発見等の健康づくりに関する公衆衛生の向上及び高齢者の福祉の増進に必要な事業を行った。

健(検)診受診者数の増加に向けた取り組みとして、テレビ CM や YouTube 等を活用して早期発見、早期受診の重要性を広く啓発をした。

また、市町村で実施される健(検)診の後方支援を行った。

あわせて、中学生に対して生活習慣病予防教育、歯科教育を実施した。

さらに、一般住民に向けて市町村と共同で講演会を実施し、健康づくりに関する公衆衛生の向上や高齢者の福祉の増進に寄与した。

【 公益目的事業 】

県民の健康の保持増進については、健康寿命の延伸を図るため、一次予防及び二次予防事業を中心に以下に記載の事業を実施した。

《一次予防》“がんを含めた生活習慣病の予防知識の啓発”

普及啓発事業として、テレビ CM、新聞、JR 電車内広告、SNS 広告等を活用し、“健(検)診受診”が生活習慣病やがん等の早期発見・早期治療につながることの重要性を県民に訴えた。

教育現場からのニーズが高い「がん教育」について、10 中学校（参加生徒 1,580 人）で開催した。

また、中学生に対し、歯や口の健康づくりについての正しい知識の啓発活動として、3 校（参加生徒 664 人）で講演会を開催した。

啓発イベントでは、10 月 4 日に五泉市で「がん征圧新潟県大会」を開催した。

市町村と行う講演会は 7 市町村で開催し、あわせて各市町村で開催されている健康イベントへのブース出展を 10 市町村で実施し、啓発に努めた。

また、令和 5 年度に新規事業として開始した企業と共同で開催する講演会を 1 企業で実施した。

《二次予防》“受診率、検診精度の向上に向けた取り組み”

(特定健康診査について)

「新潟県健診保健指導支援協議会」を通じて、特定健診受診率の向上のための啓発活動、健診データの評価分析、健診従事者への研修事業等を実施した。

(各種がん検診について)

がん検診事業を円滑に実施するため、検診従事者の資質向上を目的に、がん検診セミナー等を開催し、がんの早期発見、診断等に必要な知識及び技術の習得を図つ

た。

また、5大がんについては、市町村、検診機関から集めたデータから“検診と精密検査”の統計結果を作成し、更に発見がんに対する疫学調査で発見されたがんの病期等の詳細な情報を関係機関にフィードバックすることで検診精度の向上につながった。

【 収益事業 】

当財団の財務基盤の強化を図るための主な収益事業として、本来、特定健診実施機関が行う特定健診料金を請求するための健診結果の電子データ作成について、当財団に委託を希望する健診実施機関からの代行（472 機関）や個人結果通知書作成業務（3 市 55 機関）を有償で受託し、健診実施機関における事務作業に協力した。

〈 理事会・評議員会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決された。

第37回 定例理事会

開催日： 令和6年6月10日（月）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「令和5年度事業報告」について

第2号議案「令和5年度決算報告」について

第3号議案「定時評議員会へ提出する役員等候補者名簿」について

第4号議案「定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的等」について

第38回 臨時理事会

開催日： 令和6年6月26日（水）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 代表理事（理事長）の選定について

第2号議案 副理事長、専務理事及び常務理事の選定について

第39回 定例理事会

開催日： 令和7年3月18日（火）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 「令和7年度事業計画」について

第2号議案 「令和7年度収支予算」について

第22回 定時評議員会

開催日： 令和6年6月26日（水）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 「令和5年度事業報告」について

第2号議案 「令和5年度決算報告」について

第3号議案 「役員等の選任」について

報告事項： （1）「令和6年度事業計画」について

（2）「令和6年度収支予算」について

令和5年度事業・決算監査

開催日： 令和6年5月28日（火）

場 所： 財団会議室

監 査： （1）「令和5年度事業報告」について

（2）「令和5年度決算報告」について

[公益目的事業]

I 特定健診・特定保健指導支援事業

「新潟県健診保健指導支援協議会」と連携し、市町村国保を始めとする医療保険者が実施する特定健診・特定保健指導事業等の後方支援に努めた。

※特定健診実施数（後期高齢者健診等を含む）

30市町村国保及び県内3国保組合 241,327人 (235,293人)

() 内は令和5年度実施数

1 健診の円滑な実施のための取組み

(1) 特定健診・特定保健指導委託契約に係る事務

当財団が特定健診・特定保健指導実施機関の契約代表者となり、委託者の市町村(国保)と業務委託契約を締結し、特定健診・特定保健指導の全県統一方式(健診の均質化)の推進、健診事業の効率化を図った。

また、特定健診未受診者に係る「情報提供事業」について、医療機関の契約代表者となり、委託者の市町村(国保)と業務委託契約を締結し、市町村の保健事業の推進支援に努めた。

参加市町村数 23 参加医療機関数 431

(2) 健康診査事業合同打合せ会

令和7年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉(環境)部、検診機関、郡市医師会等の担当者を対象として、県、県医師会、県国保連の協力により開催した。

開催日： 令和7年2月14日(金)

開催方法： WEB開催(リアルタイム配信)

参加者： 245人

(3) 健診委員会

新潟県健診保健指導支援協議会が設置した特定健診に関する事項を検討する健診委員会(委員長 新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科教授 田邊直仁)を運営し、令和7年度特定健診料金(案)について協議した。

(4) 印刷物の企画、印刷・配付・斡旋等

個人記録票や質問票など健(検)診に使用する記録用紙について、各市町村及び健(検)診機関の必要部数を取りまとめ、一括印刷・配布を行うことにより、健(検)診の全県統一方式の推進とともに、健(検)診事業の効率化を図った。

(5) 普及啓発用備品整備貸出等

市町村等の関係機関に対し、生活習慣病予防に関する資料や、血管年齢測定機器等の健康教育資材の貸出を行った。（貸出件数 47件）

(6) 特定健診・特定保健指導受診勧奨用品提供

市町村国保・県内3国保組合及び新潟県健診保健指導支援協議会構成団体が、各種イベントなどにおいて、特定健診の啓発のためのポケットティッシュ、ウェットティッシュ等を提供し、特定健診受診の意識向上を図った。

2 特定健診データ等の評価分析等

市町村国保等の健康施策の作成等に活用するため、特定健診等の結果集計報告を基に全県的な分析を行い、市町村比較が容易となるよう資料を作成し、財団ホームページに掲載した。

3 健康づくりと健診受診率向上等に向けた普及啓発活動

(1) 市町村と共同で開催する講演会

生活習慣病に関する正しい知識の普及と特定健診・特定保健指導、がん検診の受診勧奨を目的として7市町村で開催した。

ア 見附市生活習慣病予防講演会

開催日： 令和6年4月18日（木）

場 所： 見附市保健福祉センター

参加者： 75人

内 容： 「糖尿病を予防・治療するための正しい知識」

講師： 厚生連長岡中央総合病院 糖尿病センター長 八幡 和明

イ 田上町生活習慣病予防講演会

開催日： 令和6年5月16日（木）

場 所： 田上町総合保健福祉センター

参加者： 24人

内 容： 「フレイル予防で健康長寿へ～体をつくる大事な食事～」

講師： 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション コーディネーター
管理栄養士 藤田 恵美子

ウ 南魚沼市生活習慣病予防講演会

開催日： 令和6年6月28日（金）

場 所： 南魚沼市民会館

参加者： 147人

内 容： 「健康寿命を延ばすための身体活動・運動」
講 師： 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 教授 佐藤 敏郎

エ 柏崎市生活習慣病予防講演会

開 催 日： 令和6年9月19日（木）
場 所： 柏崎市文化会館アルフォーレ
参 加 者： 69人
内 容： 「健康寿命を延ばすための身体活動・運動」
講 師： 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 教授 佐藤 敏郎

オ 阿賀町生活習慣病予防講演会

開 催 日： 令和6年11月2日（土）
場 所： 阿賀町総合福祉保健センター「やまぶきの里」
参 加 者： 35人
内 容： 「いつまでもおいしい生活～口腔ケアについて～」
講 師： 新潟県歯科保健協会 歯科衛生士 秋山 千亜希

カ 加茂市生活習慣病予防講演会

開 催 日： 令和6年12月5日（木）
場 所： 加茂市産業センター
参 加 者： 46人
内 容： 「フレイル予防で健康長寿へ～体をつくる大事な食事～」
講 師： 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション コーディネーター
管理栄養士 藤田 恵美子

キ 津南町生活習慣病予防講演会

開 催 日： 令和6年12月6日（金）
場 所： 津南町総合センター
参 加 者： 23人
内 容： 「フレイル予防で健康長寿へ～体をつくる大事な食事～」
講 師： 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション コーディネーター
管理栄養士 藤田 恵美子

（２）中学生に対する生活習慣病予防等教育

中学生に対し、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について啓発を行い健康意識の向上を図った。

開催市町村： 6 市

開催中学校：10校
出席生徒数：1,580人

ア 新発田市立川東中学校

実施日： 令和6年6月6日（木）
受講者数： 80人
内 容： 悪性腫瘍 悪性新生物とは
講 師： あがの市民病院長 藤森 勝也

イ 小千谷市立南中学校

実施日： 令和6年6月17日（月）
受講者数： 52人
内 容： 高齢化社会と消化器がんについて
講 師： 新潟大学医歯学総合研究科 消化器内科分野
講師・栄養管理部副部長 上村 博輝

ウ 新発田市立第一中学校

実施日： 令和6年9月26日（木）
受講者数： 354人
内 容： 耳鼻咽喉科の“いのち”について
講 師： 五泉中央病院 病院長 高橋 姿

エ 長岡市立東北中学校

実施日： 令和6年9月27日（金）
受講者数： 218人
内 容： “いのち”についての講演会
講 師： 新潟大学医学部小児科学教室 講師 小川 洋平

オ 小千谷市立片貝中学校

実施日： 令和6年10月9日（水）
受講者数： 36人
内 容： “いのち”についての講演会
講 師： 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

カ 小千谷市立千田中学校

実施日： 令和6年10月16日（水）
受講者数： 98人
内 容： “いのち”についての講演会
講 師： 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

キ 長岡市立江陽中学校

実施日： 令和6年10月24日（木）

受講者数： 135人

内 容： “いのち” についての講演会

講 師： 新潟大学放射線医学教室 病院准教授 海津 元樹

ク 魚沼市立湯之谷中学校

実施日： 令和6年10月30日（水）

受講者数： 126人

内 容： 胃がんのお話

講 師： 厚生連新潟医療センター 副院長 佐藤 祐一

ケ 阿賀野市立水原中学校

実施日： 令和6年11月19日（火）

受講者数： 460人

内 容： “がん” についてのお話し

講 師： 新潟大学大学院保健学研究科 教授 小山 諭

コ 上越市立牧中学校

実施日： 令和6年11月28日（木）

受講者数： 21人

内 容： 「がん」について

講 師： 新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤 幸示

（３）中学生に対する歯と口の健康づくり教育

中学生に対し、「歯と口の健康づくり」と題して、啓発を行い、将来、歯周病による全身疾患の発症リスクを抑え、健康寿命の延伸につなげるための講演会を開催した。

開催市町村： 3市

開催中学校： 3校

出席生徒数： 664人

ア 燕市立燕北中学校

実施日： 令和6年5月22日（水）

受講者数： 150人

内 容： 歯と口の健康づくり

講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科

口腔健康科学講座 う蝕学分野准教授 竹中 彰治

イ 新発田市立第一中学校

実施日： 令和6年5月29日（水）

受講者数： 354人

内 容： 歯と口の健康づくり

講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科.

口腔健康科学講座 う蝕学分野教授 野杵 由一郎

ウ 佐渡市立金井中学校

実施日： 令和6年6月19日（水）

受講者数： 160人

内 容： 歯と口の健康づくり

講 師： 新潟県歯科医師会 常務理事

木戸歯科医院長 木戸 寿明

（４）各種健康づくりイベントへの参加

県内で開催された各種イベントに出展し、関係機関の協力を得ながら、来場者に対して特定健診及びがん検診等の普及啓発を行った

ア BSN夏ラジオ2024

開催日： 令和6年7月20日（土）、21日（日）

場 所： 新潟ふるさと村

ブース来場者数： 258人

内 容： 血管年齢測定、乳がんモデル触診体験

イ 福祉・介護・健康フェア2024 in NIIGATA

開催日： 令和6年11月9日（土）

場 所： 新潟市産業振興センター

ブース来場者数： 240人

内 容： 血管年齢測定、受診勧奨リーフレット配布

（５）市町村健康づくりサポート事業

市町村が住民の健康づくりを促進するために開催する「健康祭り」や「健康フェア」などのイベントにおいて、測定コーナーを設け、血管年齢測定などを通じて住民の健康意識を高めるとともに、健（検）診の受診を呼びかけるなどして、市町村の保健活動を支援した。

ア 長岡市「すこやか・ともしびまつり2024」

実施日： 令和6年9月14（土）、15日（日）

会 場： アオーレ長岡
測定人数： 214人
内 容： 血管年齢測定

イ 柏崎市「柏崎市健康推進員協議会のびのび研修会」

実 施 日： 令和6年9月19日（木）
会 場： 柏崎市文化会館アルフォーレ
測定人数： 73人
内 容： 血管年齢測定、骨健康度測定

ウ 五泉市「乳がん・子宮がん検診」

実 施 日： 令和6年10月20日（日）
会 場： ラポルテ五泉
測定人数： 92人
内 容： 血管年齢測定、骨健康度測定

エ 湯沢町「ふれあい福祉健康フェスティバル」

実 施 日： 令和6年10月20日（日）
会 場： 湯沢カルチャーセンター
測定人数： 126人
内 容： 血管年齢測定

オ 阿賀町「健康フェスティバル阿賀」

実 施 日： 令和6年11月2日（土）
会 場： 阿賀町総合福祉保健センター やまぶきの里
測定人数： 85人
内 容： 血管年齢測定、骨健康度測定、脳年齢測定

カ 刈羽村「刈羽村文化祭」

実 施 日： 令和6年11月2日（土）
会 場： 刈羽村生涯学習センター ラピカ
測定人数： 226人
内 容： 血管年齢測定

キ 出雲崎町「生涯学習フェスティバル」

実 施 日： 令和6年11月3日（日）
会 場： 出雲崎町町民体育館
測定人数： 50人
内 容： 血管年齢測定

ク 村上市「さんぼく祭」

実 施 日： 令和6年11月10日（日）

会 場： 山北総合体育館

測定人数： 92人

内 容： 血管年齢測定

ケ 加茂市「糖尿病講演会」

実 施 日： 令和6年11月28日（木）

会 場： 加茂文化会館

測定人数： 74人

内 容： 血管年齢測定

コ 加茂市「令和6年度第2回ヘルスアップ講演会」

実 施 日： 令和6年12月5日（木）

会 場： 加茂市産業センター

測定人数： 39人

内 容： 血管年齢測定

サ 津南町「食生活改善推進協議会第3回中央研修会」

実 施 日： 令和6年12月6日（金）

会 場： 津南町総合センター

測定人数： 25人

内 容： 血管年齢測定

（6）ホームページを活用した情報提供活動

財団ホームページを県民が利用しやすい内容にリニューアルし、健康づくり情報の発信を行った。

（7）企業と共同で開催する講演会

企業を対象に、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について啓発を行い健康意識の向上を図った。

日本精機株式会社

開催期間： 令和7年3月10日（月）～3月28日（金）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

参 加 者： 149人

内 容： 「“がん”について考える」

講 師： 新潟大学医学部小児科学教室 講師 小川 洋平

4 広報による受診勧奨

(1) 広告媒体を用いた普及啓発等

県民に生活習慣病の予防及び特定健診・がん検診の受診を呼びかけるため、次のとおり各種メディアを活用して普及啓発を実施した。

ア JRドア上広告

期間： 4月～3月（1年間）

内容： 県内エリア（越後線、上越線、羽越線等）を走るJR電車内のドア上に、特定健診及びがん検診の受診勧奨広告を掲載した。

イ サイネージ広告

期間： 4月～3月（1年間）

内容： 万代シティバスセンター内の発着番線10柱のデジタルサイネージに特定健診及びがん検診の受診勧奨動画を放映した。

ウ テレビCM

期間： 8月～3月（8か月）

内容： TeNYテレビ新潟で毎週日曜に放送されている『所さんの目がテン』内で特定健診及びがん検診の受診勧奨CMを放送した。

エ SNS広告

期間： 8月～1月（6か月）

内容： InstagramやYouTube等に特定健診及びがん検診の受診勧奨広告を配信した。

（広告表示回数）

・Instagram、Facebook広告	52.1 万回
・YouTube広告	59.9 万回
・Googleディスプレイ広告	632.4 万回

(2) 普及啓発用リーフレットの配付

健康寿命の延伸に向け、特定健診受診勧奨用リーフレットやメタボなど特定保健指導対象者向けリーフレットを市町村国保、県内3国保組合へ配付し、住民への生活習慣病予防の意識啓発を図った。

（リーフレット）

・健診からはじめる健康志向生活	10,040部
・いかがでしたか？あなたの健診結果	17,560部
・健診結果を活用してカラダ改善	3,660部
・日々のメンテナンスで健康航海！	13,110部
・あなたも受けなきゃ！特定健診	2,870部
・今ある生活が失われる前に医療機関を受診してください	3,710部
・この機会を逃さないで！あなたは特定保健指導の対象者です	2,160部

・あなたは情報提供レベルです	1,900部
・あなたは動機付け支援レベルです	4,470部
・あなたは積極的支援レベルです	1,770部

Ⅱ がん検診等受託事業

1 がん検診事業に係るコーディネート

(1) がん検診等に係る業務

新潟県の「健(検)診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診の問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

	A：令和6年度	B：令和5年度	A-B
ア 胃がん検診			
契約市町村数	30	(30)	0
受診者数	63,483人	(65,869人)	▲2,386人
イ 子宮がん検診			
<u>車 検 診</u>			
契約市町村数	24	(25)	▲1
受診者数	22,556人	(24,097人)	▲1,541人
<u>施 設 検 診</u>			
契約市町村数	28	(28)	0
受診者数	18,086人	(17,764人)	322人
<u>体がん検診</u>			
契約市町村数	2	(2)	0
受診者数	389人	(389人)	0人
ウ 肺がん検診			
<u>X線写真読影</u>			
契約市町村数	30	(30)	0
受診者数	187,513人	(185,442人)	2,071人
<u>喀 痰 検 査</u>			
契約市町村数	29	(29)	0
受診者数	2,587人	(2,639人)	▲52人

	A：令和6年度	B：令和5年度	A-B
エ 乳がん検診			
<u>集団(マンモ)</u>			
契約市町村数	26	(27)	▲1
受診者数	38,471人	(41,883人)	▲3,412人
<u>施設(マンモ)</u>			
契約市町村数	23	(22)	1
受診者数	13,496人	(12,711人)	785人
オ 大腸がん検診			
契約市町村数	30	(30)	0
受診者数	123,749人	(124,160)	▲411人
カ 肝炎ウイルス二次検診			
契約市町村数	1	(1)	0
受診者数	139人	(237人)	▲98人
キ 前立腺がん検診			
契約市町村数	12	(12)	0
受診者数	6,759人	(6,749人)	10人

(2) 健康診査事業合同打合せ会(再掲)

(3) 精度管理調査事業

ア 精度管理実態調査

財団では、県民が“安心”して健(検)診を受診できるよう、県内検診機関で構成される「新潟県検診機関協議会」の健(検)診の質の向上を図るため、令和5年度各種検査機器やマニュアル等の整備状況等に関する実態調査を実施した。

イ 精度管理調査(県委託事業)

質の高い検診体制の構築を図るために、市町村が行うがん検診を受託する全ての医療機関(診療所等を含む)に対し検診体制の実態把握のため、国立がん研究センターが示す「事業評価のためのチェックリスト」等による精度管理調査を行った。

2 検診データ等の評価・分析

(1) 悪性新生物（がん）登録収集業務（県委託事業）

関係医療機関への届出用CD-R等の配付、がん登録情報の収受など、がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業を行った。

登録票受付件数	28,082件	(28,159件)
届出医療機関数	139機関	(116機関)

() 内は令和5年度実績

(2) 検診結果統計分析事業

「Ⅱ－1－(1) がん検診等に係る業務」に記載の各種がん検診実績数の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。また、希望市町村に対し個人の検診結果を電子データで還元した。

がん検診データ還元 () 内は令和5年度実績

・胃がん検診実施市町村数	3	(3)
・子宮がん検診実施市町村数	3	(3)
・乳がん検診実施市町村数	3	(3)
・肺がん検診実施市町村数	3	(3)
・大腸がん検診実施市町村数	3	(3)
・前立腺がん検診実施市町村数	1	(1)

(3) がん検診データ等一元化事業（任意型検診）

乳がん検診について、県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態を把握するため、新潟県検診機関協議会の協力を得て、任意型検診の結果を収集し分析した。

(4) 疫学調査事業

ア 疫学調査

令和5年度の5大（胃・子宮・肺・乳・大腸）がんの検診結果に基づき「がん」又は「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

イ 結果報告

令和2年度実施分の胃がん、肺がんの結果を取りまとめ報告書をホームページに公表した。

ウ 追跡調査

令和元年度疫学調査結果でがんと診断された者の予後について、追跡調査を実施した。

	(令和5年度分) 疫学調査	(令和元年度分) 追跡調査
・胃がん検診実施件数	115件	152件
・子宮がん検診実施件数	76件	8件
・肺がん検診実施件数	275件	154件
・乳がん検診実施件数	161件	178件
・大腸がん検診実施件数	334件	275件

3 研究・研修の推進

(1) 新潟県がん検診研究会

がんに関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県がん検診研究会の運営等を支援した。

会 長	新潟県保健衛生センター理事長	横山 晶
会 員 数	個人 8人 団体 66団体	
令和6年6月20日(木)	運営委員会	新潟県医師会館・ZOOM
7月9日(火)	第1回理事会	書面協議
令和7年2月10日(月)	第2回理事会	書面協議

第36回新潟県がん検診研究会総会を開催した。

開 催 日：	令和6年12月10日(火)
場 所：	新潟県医師会館、ZOOM
参 加 者：	現地出席者25名、WEB接続数31回
内 容：	
ア 事例発表	
	「乳がん検診における精密検査受診率向上の取組みについて」
	講 師 小千谷市健康・子育て応援課 稲川 由佳
イ 特別講演	
	「胃がん検診に導入が予定されている『胃X線検診のための読影判定区分(カテゴリー分類)』について」
	講 師 新潟県労働衛生医学協会 消化器内科統括部長 成澤 林太郎
	座 長 新潟県保健衛生センター 成人病検診センター長 椎名 眞

(2) 新潟県検診機関協議会

新潟県検診機関協議会が目的とする県民の保健福祉の向上に寄与するための検診技術及び精度の向上、情報交換並びに調査研究等の運営等を支援した。

会 長	新潟県健康づくり財団理事長	渡部 透
会 員 数	23団体	

令和6年5月22日（水）第1回役員会	書面協議
6月21日（金）常任幹事会	新潟県医師会館
7月10日（水）定例総会	新潟東映ホテル
11月11日（月）常任幹事会	新潟県医師会館
令和7年3月5日（水）検診従事職員研修会	
	アートホテル新潟駅前（詳細はP24）
3月22日（水）第2回役員会	書面協議

（３）新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会（12地域）

肺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図った。

委員長 新潟県保健衛生センター理事長 横山 晶

委員 7人

地域肺がん検討委員会

（設置地域） 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡
魚沼・南魚沼・十日町・柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を書面協議により開催した。

開催日： 令和6年11月20日（水）

議題：

- ア 令和5年度肺がん検診結果報告について
- イ 令和4年度肺がん検診疫学調査・追跡調査について
- ウ 令和5年度地域肺がん検討委員会の開催状況について

（４）新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会（5地域）

「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携により乳がん検診の円滑な実施及び運営を行った。

委員長 新潟県労働衛生医学協会副会長 佐藤 信昭

委員 13人

地域乳がん検討委員会

（設置地域） 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議を開催した。

開催日： 令和6年11月6日（水）

場所： 新潟県医師会館、ZOOM

議題：

- ア 令和5年度乳がん検診結果報告等について
- イ 令和4年度乳がん疫学調査結果報告について

ウ 令和5年度地域乳がん検討委員会の開催状況について

(5) 新潟県前立腺がん検討委員会

前立腺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会(前立腺がん検診の内容含む)との連携を図った。

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科
腎・泌尿器病態学分野 教授 富田 善彦
委員 12人

新潟県前立腺がん検討委員会を開催した。

開催日： 令和7年3月8日(土)

場所： 新潟県医師会館

議題：

- ア 令和5年度前立腺がん検診結果等について
- イ その他

4 がん予防と受診率向上に向けた普及啓発活動

(1) 新潟はっぴー乳ライフ事業

「新潟はっぴー乳ライフ」事業としてピンクリボンホリデーのイベントを実施し、乳がん予防の啓発を図った。

代表 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡
実行委員 27人

令和6年4月23日(火)	第1回実行委員会	WEB開催
6月11日(火)	第2回実行委員会	〃
7月23日(火)	第3回実行委員会	〃
9月12日(木)	第4回実行委員会	〃
12月17日(火)	第5回実行委員会	〃
令和7年2月26日(水)	第6回実行委員会	〃

「ピンクリボンホリデー2024」を開催した。

開催日： 令和6年10月20日(日)
(10月23日～11月22日までオンデマンド配信実施)

場所： 新潟日報メディアシップ

参加者： 当日参加者265人

録画配信 視聴回数 362回(ユニーク人数：103人)

サテライト会場(にいがた乳腺クリニック)での乳がん検診受診者 19人

内 容：

ア 基調講演「変わりゆく乳がん治療」

講 師 新潟市民病院 乳腺外科副部長 利川 千絵

司 会 まきの乳腺クリニック 院長 牧野 春彦

イ リレートーク「私が、家族が、乳がんになったとき～病気と向き合って気づいたこと～」

演 者 株式会社新潟日報社/経験者 江森 美奈子

演 者 花卉造園業/患者家族 石塚 正樹

演 者 県立中央病院/患者家族 鈴木 茜理

司 会 県立がんセンター新潟病院 乳腺外科部長 金子 耕司

司 会 〃 がんゲノム医療センター 認定看護師 三富 亜希

ウ 乳がん体験者と家族、医療関係者による座談会「学びながら考えよう！あの時と今、新しい乳がん治療のあれこれ」

リレートーク演者（江森 美奈子、石塚 正樹、鈴木 茜理）

乳腺専門医 新潟市民病院 乳腺外科副部長 利川 千絵

認定看護師 長岡赤十字病院 緩和ケアセンター 大野 弘美

病院薬剤師 県立がんセンター新潟病院 薬剤部副部長

田中 佳美

座 長 厚生連柏崎総合医療センター 副院長 植木 匡

座 長 新潟医療福祉大学 教授 五十嵐 紀子

エ ブース出展

（２）市町村と共同で開催する講演会（再掲）

（３）中学生に対する生活習慣病予防等教育（再掲）

（４）肝炎対策の普及啓発

新潟大学医歯学総合病院肝疾患相談センターと協働し、Ｂ・Ｃ型肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療に繋げるため、市民公開講座を開催し普及啓発を行った。

＜市民公開講座＞

開催期間： 令和６年７月２２日（月）～８月１８日（日）

開催方法： ＷＥＢ開催（オンデマンド配信）

参 加 者： ３２人

内 容：

ア 「肝臓の働きについて」

新潟大学医歯学総合病院

消化器内科 肝疾患相談センター 特任助教 木村 成宏

イ「B型肝炎ウイルスについて」

新潟大学医歯学総合病院

消化器内科 講師 上村 博輝

ウ「C型肝炎ウイルスについて」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座 特任助教 渡邊 雄介

エ「アルコール性肝炎について」

新潟大学医歯学総合病院

消化器内科 講師 坂牧 僚

オ「非アルコール性脂肪性肝疾患について」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座 特任准教授 横尾 健

カ「自己免疫性肝炎・原発性胆汁性胆管炎について」

新潟大学医歯学総合病院

消化器内科 肝疾患相談センター 特任助教 木村 成宏

キ「肝硬変について」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座 特任助教 吉田 智彰

ク「肝細胞癌について」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器内科学分野 助教 阿部 寛幸

(5) ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

(6) 企業と共同で開催する講演会（再掲）

5 広報による受診勧奨（再掲）

III 生活習慣病予防普及啓発等事業

1 円滑な事業実施を図るための取組み

(1) 普及啓発用備品整備貸出等（再掲）

2 研究・研修の推進

(1) 新潟県糖尿病対策推進会議

糖尿病に関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、

新潟県糖尿病対策推進会議の運営等を支援した。

会 長 新潟県健康づくり財団理事長 渡部 透
会 員 数 個人 8人 団体 63団体
令和7年3月11日（火） 第1回理事会 書面協議

第11回新潟県糖尿病対策推進会議総会を開催した。

開 催 日： 令和7年3月24日（月）～31日（月）
場 所： オンデマンド開催
視 聴 数： 視聴数61回
内 容：
演 題 「糖尿病の寛解についての基礎知識」
講 師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝
内科学分野 健康寿命延伸・生活習慣病予防治療医学講
座 特任准教授 藤原 和哉

（2）フレイル克服プロジェクト

県の委託により県民の健康寿命の延伸を図るため、「加齢予防介入モデル事業」と「疾病介入モデル事業」を両輪とし、関係機関からの協力を得て事業を実施した。

令和6年7月22日（月）フレイル対策二次予防等事業実施報告会
令和7年2月8日（土）フレイル克服対策講習会（集会・オンデマンド開催）

会 場：新潟県医師会館401、402会議室
司 会：新潟南病院 統括顧問 和泉 徹
講演1：「脊椎椎体骨折のフレイル対策～診断・治療編～」
講 師：新潟南病院整形外科 脊椎外科 和泉 智博
講演2：「脊椎椎体骨折のフレイル対策～リハビリ編～」
講 師：新潟南病院 リハビリ部 理学療法士 後藤 沙和
参加者：会場2名 オンデマンド配信視聴数 125回

・加齢予防介入モデル事業

ア 関係機関： 関川村「健脚・健脳うんどう日」
開 催 日： 令和6年11月13日（水）～令和7年2月5日（水）
参 加 者： 43名
実施内容： 10m歩行速度、握力、基本チェックリスト、
イ 関係機関： トキめき会（佐渡市）
開 催 日： 令和6年12月13日（金）～15日（日）
参 加 者： 95人

実施内容： 10m歩行速度、握力、バランス機能、筋肉量、
認知機能、視力、聴力等

・疾病介入モデル事業

関係機関： 新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域連携のための内部障
害リハビリテーション学講座

テーマ： 「心不全入院患者への心臓リハビリのアウトカムとリハビリ
資源、病床機能の活用状況等の調査」

関係機関： 新潟市民病院

テーマ： 「肝硬変患者等の効果的な運動療法の開発」

関係機関： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座

テーマ： 「新潟市民病院におけるフレイル、サルコペニア研究」

関係機関： 新潟南病院

テーマ： 「多施設が共同参加するDOPPOの見える化の開始」

関係機関： 新潟大学歯学部摂食嚥下リハビリテーション学分野

テーマ： 「口腔機能低下症の管理と身体機能の関連」

3 生活習慣病と受診率向上等に向けた普及啓発活動

(1) 生活習慣病予防展

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上、健康づくりの実
践定着を目的として、関係機関との共催により「生活習慣病予防展」を開催し
た。

開催日： 令和6年10月4日（金）

場所： ラポルテ五泉 ガレリア（第39回がん征圧新潟県大会と併催）

(2) ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

4 広報活動

(1) 広報による受診勧奨

ア 新聞広告等

11月10日（日）の新潟日報朝刊に、がん征圧新潟県大会の講演録を掲載
し、がん予防及びがん検診の普及啓発を行った。

イ ポスター・リーフレット・冊子の配布 (部数)

・ポスター「がん征圧月間」 330枚

・ポスター「禁煙推進」 330枚

・冊子「がんのしおり」 24冊

・冊子「生活習慣病のしおり」 49冊

(2) 機関紙「陽光」発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を発行し、市町村(公民館を含む)をはじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

また、社会環境への意識の高まりやペーパーレス化推進の流れを受け、第38号をもって機関紙「陽光」の発行を終了し、財団ホームページ内の『健康コラム』を通じて健康づくりに関する様々な情報を発信することとした。

ア 第37号(令和6年6月発刊)

- ・「働く世代の健康と働き甲斐と生き甲斐」
新潟青陵大学 看護学研究科 教授 中平 浩人
- ・「いかにして誤嚥性肺炎を予防するか」
日本海医療福祉研究施設 施設長 西尾 正輝

イ 第38号(令和7年1月発刊)

- ・「知って得する!『補聴器購入費用の助成』」
大滝耳鼻科クリニック 院長 大滝 一
- ・「こどもの神経発達症(発達障害)について」
にじいろこどもクリニック 院長 大橋 伯

IV がん予防普及啓発活動

1 がん征圧に向けた普及啓発活動

(1) がん征圧維持会員募集及び寄附受入れ

がん征圧維持会員募集実績

・法人会員	自治体会員	30 市町村	1,180,000 円
	医師会会員	16 団体	400,000 円
	検診団体会員	20 団体	200,000 円
	一般法人会員	37 団体	373,000 円
・個人会員		27 人	122,000 円
(合 計			2,275,000 円)

(2) 第39回がん征圧新潟県大会

県民にがんに対する正しい知識の普及を図り、定期的な検診による早期発見・早期治療の重要性をPRしがん撲滅の誓いを新たにするため、五泉市、東北広域次世代がんプロ養成プラン(新潟大学)との共催及び関係機関の協力のもと開催した。

開催日： 令和6年10月4日（金）

場所： ラポルテ五泉 多目的ホール

参加者： 120人

内容：

ア 体験談 「がんのお話」

講師 日本対がん協会 大塚 彩実

イ 特別講演 「あなたは胃がんになりやすい？！ー判ります！ピロリ菌抗体検査と通常胃がん検診の組合せでー」

講師 新潟県労働衛生医学協会 消化器内科統括部長
成澤 林太郎

（3）ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

2 広報による受診勧奨（再掲）

V 研究研修事業

1 研究・研修の推進

（1）健康診査従事者研修会

診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師等、生活習慣病検診に従事する職員の資質及び技術の向上を図る目的で、新潟県及び新潟県検診機関協議会と共催で開催した。

開催日： 令和7年3月5日（水）

開催場所： アートホテル新潟駅前

参加者： 合同研修 128人

第一分科会 78人

第二分科会 41人

第三分科会 24人

内容：

ア 合同研修

講演 「カスタマーハラスメントへの対応について」

講師 新潟労働衛生コンサルタント事務所 代表 鈴木 美和

イ 第一分科会

講演1 「「ナトカリ比」測定の有用性」

講師 オムロンヘルスケア株式会社 技術開発統轄部 永吉 翔

講演2 「CKD進展予防の為に判定基準改正について」

講師 新潟大学医歯学総合研究科腎研究センター病態栄養学講座
特任准教授 細島 康宏

ウ 第二分科会

講演1 「胸部A I 読影支援、乳房超音波検査の支援機能について」

講 師 富士フイルムメディカル株式会社

北関東支社 ITソリューションセンター 永嶋 大

営業本部 超音波事業部 島峰 三加子

講演2 「日本消化器がん検診学会が策定した『胃X線検診のための
読影判定区分』の導入にあたって」

講 師 新潟県労働衛生医学協会 消化器内科統括部長

成澤 林太郎

エ 第三分科会

シンポジウム「検診発見のCIN2以上病変の実態」

座 長 新潟県保健衛生センター 婦人科検診室主幹 井上 博子

助 言 公益財団法人がん研究会 有明病院 臨床病理センター

阿部 仁

演 者 上越地域総合健康管理センター 事業課係長 江村 敦子

下越総合健康開発センター 病理細胞診検査課

板垣 由香里

厚生連長岡中央総合病院 病理部 井野 恵理花

新潟県保健衛生センター 検査科 技師 佐藤 佳奈

講 演 「HPV 検査単独法導入について」

講 師 公益財団法人がん研究会 有明病院 臨床病理センター

阿部 仁

(2) 細胞検査士研修会（県委託事業）

子宮がん検診の受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を
目的として研修会を開催した。

開 催 日： 令和6年8月31日（土）

開催方法： 新潟県医師会館

参 加 者： 89人

内 容：

症例検討

演 題 「子宮頸部・体部の細胞診－腺系病変の症例検討－」

座 長 新潟県立がんセンター新潟病院 臨床部長 菊池 朗

講 師 産科婦人科山田医院 山田 潔

新潟大学大学院医歯学総合研究科 家族性・遺伝性腫瘍

学講座 特任教授（産科婦人科） 西野 幸治

新潟大学大学院医歯学総合研究科准教授（産科婦人科）

安達 聡介

新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科部長 田村 亮

（３）がん検診セミナー（県委託事業）

本県の子宮がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的としてセミナーを開催した。

開催日： 令和７年２月２５日（火）

開催方法： ＷＥＢ開催（ＺＯＯＭによるライブ配信）

参加者： １６２人

内 容：

講演「子宮頸がん検診のHPV検診単独法導入に向けて」

講師 新潟南病院婦人科部長 児玉 省二

[収益事業等]

I 特定健診等健康情報管理還元代行等事業

1 特定健診等健康情報管理電子化業務代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行した。

特定健診結果電子化代行処理業務	472機関	75,011件	(76,257件)
-----------------	-------	---------	-----------

() 内は令和5年度実績

2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、受診者の特定健診等結果を作成し提供した。

特定健診個人結果通知書作成業務	3市・55機関	3,258件	(3,392件)
-----------------	---------	--------	----------

() 内は令和5年度実績

3 健康づくり及び生活習慣病等に関する印刷物等の頒布事業

生活習慣病予防活動を推進し県民の健康の保持増進を図るため、がん検診等について、分かりやすく解説したリーフレットを市町村・健（検）診実施機関向けに頒布した。

(リーフレット)

・がん検診	7施設	4,700部
・女性のがん ～乳がんと子宮頸がん～	31施設	62,400部

事業報告附属明細書

令和6年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第12条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。